

商品お試し隊通信・総代通信 合冊号



今回は、「商品お試し隊通信」と「総代通信（2月地域別総代会議報告）」を合冊号として一冊にまとめ、お届け致します。

【もくじ】

表紙・合冊号もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ページ

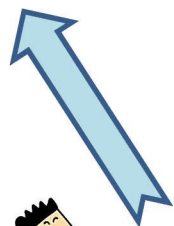
1. 商品お試し隊通信（3号）

- 1) セフターエナジー学習資料・・・・・・・・・・2,3ページ
- 2) 前回（フレンドリーバナナ、野菜保存袋）の振り返り・・・4, 5ページ

2. 総代通信（2号）

- 1) 2月地域別総代会議報告6ページ
- 2) アンケートで寄せられた声・・・・・・・・7～9ページ
- 3) ご質問、ご意見への回答・・・・・・・・9～19ページ

ホッチキス針不使用



総代さんの声『ホッチキス針を使わない資料にしてほしい』



声に応じて「ホッチキス針不使用」の資料にしました。

食べて、使って、みんなの声を交流しよう！

「商品お試し隊 通信」NO3

◆4月学習商品 セフターエナジー（抗菌・防臭）

セフターエナジー
抗菌・防臭
(400g) 参考組価(税込)404円



すすぎ 1回
抗菌 防臭

抗菌成分が菌の増殖を防ぎ、イヤなニオイの発生を防ぐ！
48時間抗菌試験実施済※！
※48時間抗菌試験：
JIS L1902 菌液吸収法、準用

ハーバルエアの香り
香りの強さ★★★★

標準使用量：水30Lに10g

- 抗菌防臭：コープセフターシリーズの中で人気 NO1！
- 洗濯機が普及した1960年代は、全国で川の汚染が進み、洗剤による水環境への影響が社会問題に・・・
- コープはこの問題にいち早く取り組み、より生分解性が高い高級アルコール界面活性剤を利用して開発したのが「コープセフター」でした。
- 組合員が参加して開発するコープ商品の先駆けでもありました。(約1万人の組合員がテストに参加)
- 余計なものはいれないこだわり
(蛍光剤無配合、無着色)。主洗浄成分である界面活性剤中に、繰り返し生産できる植物原料のパーム・ヤシから取れるパーム油を使用しています。



パーム・ヤシの実。中心(白い部分)にある種の油で、セフターの主成分となる界面活性剤が作られています

「洗剤環境付与キャンペーン」対象商品です！

キャンペーンの仕組み

キャンペーン期間：2022年5月21日～2023年5月20日(通年)

1
対象商品をお買い求めください。
対象商品例



セフターエナジー抗菌・防臭
セフターエナジー強力洗浄

2
1品につき0.5円が「WWFジャパン」に寄付されます。

0.5円



3
持続可能なパーム油の生産などを支援する活動につながります。



@WWF ジャパン

インドネシア各地の小規模パーム農家の持続可能な生産などを推進するプロジェクトを支援しています！

【対象商品】セフターエナジー抗菌・防臭、セフターエナジー強力洗浄、柔軟剤入り洗剤 ふんわり&香るセフター(濃縮)、セフターE、セフター漂白剤入り、液体セフター抗菌プラス、柔軟剤入りふんわり&香るセフター、まいにちせっけん わたしのせんたく、液体せっけん おおぞら、粉せっけん おおぞら、液体セフターパワー洗浄、純せっけん

セフター進化の歴史



容量:2,650g

1960年代

コープセフター誕生

従来のLASより生分解性のよい高級アルコール系界面活性剤を採用。



容量:2,650g

1980年代

石油系から植物由来原料へ

使用される界面活性剤を石油由来から植物由来に順次変更。



容量:1,500g/800ml

1990年代

コンパクト洗剤・液体洗剤登場

スプーン1杯で洗えるコンパクト洗剤の時代へ。液体洗剤も誕生。



容量:1,000g

2009年

簡易パック全国化

紙箱から簡易パックに。容器の軽量化が進む。



容量:400g

2010年代～

液体コンパクト洗剤登場

1回あたりの使用量を減らしてすすぎ1回を実現。

わたしにぴったりのセフターは?/

..... 洗剤のカタチ × 求める仕上がりで選ぼう

さまざまな用途に合わせて、それぞれの特性を発揮するセフターシリーズ。

ライフスタイルや使い勝手、自分の好みで選ぶことができます。



	省スペース収納なら 液体コンパクト	使い勝手なら 液体レギュラー	洗浄力なら 粉末
ニオイケア 部屋干しに最適! 	セフターエナジー 抗菌・防臭 (400g) 参考組価(税込)404円 すすぎ1回 抗菌・防臭 抗菌成分が菌の増殖を防ぎ、イヤなニオイの発生を防ぐ! 48時間抗菌試験実施済※! ※48時間抗菌試験: JIS L1902 菌液吸収法、準用 ハーバルエアの香り 香りの強さ★★★★ 標準使用量:水30Lに10g	液体セフター 抗菌プラス (800g) 参考組価(税込)393円 すすぎ1回 抗菌・防臭 菌に負けない!ニオイに勝つ! W防臭システム ハーバルフルーティの香り 香りの強さ★★★☆☆ 標準使用量:水30Lに25g	セフター 漂白剤入り (900g) 参考組価(税込)404円 ニオイ・頑固汚れをひきはがしてスツキリ! フレッシュフローラルの香り 香りの強さ★★★☆☆ 標準使用量:水30Lに25g
	セフターエナジー 強力洗浄 (400g) 参考組価(税込)404円 すすぎ1回 4種の酵素と高浸透洗浄成分で頑固な汚れもパワフル洗浄 クリーンシトラスの香り 香りの強さ★☆☆☆ 標準使用量:水30Lに10g	液体セフター パワー洗浄 (800g) 参考組価(税込)393円 すすぎ1回 汗・皮脂からがんこな汚れ、泥汚れまでスツキリ洗浄。 清々しいフローラル&グリーンの香り 香りの強さ★☆☆☆ 標準使用量:水30Lに25g	セフターE (900g) 参考組価(税込)404円 すすぎ1回 5つの酵素と泥汚れキャッチャーを配合。わずかに15gで抜群の洗浄力! フローラルグリーンの香り 香りの強さ★☆☆☆ 標準使用量:水30Lに15g
洗淨力 泥・汗・食べこぼしに 衣類に香りが残りにくいタイプ 	ふんわり&香るセフター(濃縮) (400g) 参考組価(税込)393円 すすぎ1回 抗菌・防臭 プリンセスフローラルの香り ※イメージ 香りの強さ★★★★ 標準使用量:水30Lに10g	柔軟剤入り ふんわり&香るセフター (800g) 参考組価(税込)459円 すすぎ1回 抗菌・防臭 みずみずしい果実とお花の香り ※イメージ 香りの強さ★★★☆☆ 標準使用量:水30Lに25g	カタログ注文は『ばれっと』をご覧ください 赤ちゃんの衣類などには洗浄成分せつけん100%の「液体せつけんおおぞら」と「粉せつけんおおぞら」もあります。

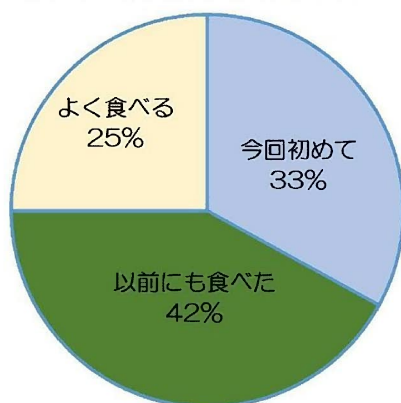
第2回商品お試し隊 <振り返り>

「フレンドリーバナナ」+「野菜いきいき鮮度保持袋」 商品レポートの声

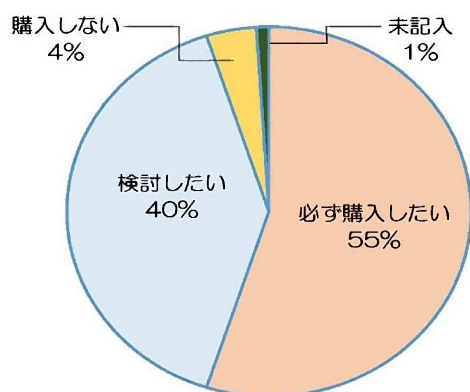
商品お試し隊2月のお届け商品「フレンドリーバナナ」と「野菜いきいき鮮度保持袋」の商品レポートのご提出をいただき、ありがとうございます。
レポートの集計結果と主な声を紹介いたします。



今回の商品を試食したのは



今後この商品を購入しますか



◆満足度の平均は 4点 です（5点満点）



フレンドリーバナナを試食しての感想は？

<よかったよの声>



- 今までバナナの味はみんな同じだと思っていたのにこうも違うのかと驚いた。生産者さんの工程なども理解したので安心して食べる事ができるバナナだと思った。次、バナナを購入する時はフレンドリーバナナに決めた。
- 今まで購入していたバナナとは甘味と歯ごたえが格段に違う!とても美味しく満足できるバナナでした。次回からはこだわってフレンドリーバナナを購入します。
- 中3の息子がペロリ1日で食べました。バナナの臭みなく美味しいとの事。
- やっぱり市販のバナナの中では断然美味しいです!孫たちもバナナ?はそれしか食べません。
- バナナの農薬についてはたまに記事でみていて、気にはなっていたので、それが少ない状態でこの値段と考えるとお得な気がします。そして何より美味しいと思います。
- この機会に市販品と食べ比べてみました。娘も私も食べてすぐ『あ、ちがう!こっちが美味しい?』意見一致(笑)
生産から販売までの過程を学ぶと、尚更良さがわかりました。
- たまたま、フレンドリーバナナが届いた日に別で子供がバナナをもらって来てたんですが、食べ比べて、ヤバ、ぜんぜん違う、コープのが甘くて美味しいって言ってました。

<あんまりだったの声>



■7本あって、量は満足ですが、やはり、値段が高く、スーパーで必要な時に必要な量を購入できるので、再購入はないと思います。また、7本の量というとは嬉しい反面、我が家ではなかなか消費できない量で、消費し切る頃には黒く変色したりと食べ切る量では無かったです。

■バナナの中では高価なので、大家族には質より量の方が優先してしまいます。

■私に取っては1本の量が多すぎる。島バナナやモンキーバナナの方が量的に都合が良い。

「野菜いきいき鮮度保持袋」を使ってみての感想は？

■バナナを買っても家族が手をつけず、傷むことが度々ありました。提供された保存袋に入れておくと、黒い斑点が出ている美味しい段階を5日くらいキープしていたように思います。想像以上の効果でした。気温が高くなった時にもぜひ試したいです。

■こんな保存袋があったなんて全然知らず、普通のビニール袋にいて野菜など保管していたが、この商品を知ってから切り替えようと思う。バナナも動画のように保存してみた結果、いつものバナナよりも日持ちしたのはびっくりした。

■野菜って冷蔵庫（野菜室）に入れてもカビが生えたりで捨ててしまっていました。まとめ買いをすることも多いので、保存袋で節約もできるのは、かなりいいです。

■保存袋には切ったリングを入れてみましたが、1日おいても切り口が茶色く変色しませんでした。

■一緒に野菜の鮮度キープする袋もあったので使ってみたが、バナナが黄色の状態は1日もったかなくらい。想像以上にもたなかった。せっかく美味しいバナナを、半分以上皮を茶色にしてしまって、残念な感じてした。



あなたが実践している「食品保存方法」「鮮度を保つ知恵」があれば、ぜひ教えてください



■特に夏野菜（きゅうり・トマト・ナス・ピーマン）ですが、買ってきたらそのまま水につけて水分を補充してやって保存しています。そのまま野菜室に入れるより、だいぶ長持ちしますよ。

■キャベツは芯をくり抜き水分を含ませたキッチンタオルを当てて保管。外葉からはがして使いきっています。小人数家族の為、かなり助かっております。

■葉野菜は新聞紙でくるみ軽く湿らせてビニール袋に入れて空気を抜いて包む。

■天日干しにして乾燥野菜を作っていた（湿度が多いので夏場の晴れた日など）。野菜の旨みは濃縮されるしカサが減らせるので、大量にある時などは良いかも。

■冷凍できる野菜は冷凍します。ゴーヤー、ネギ、パパイヤ、きのこ類、ほうれん草、小松菜、人参。安い時に購入して冷凍します。

■協同購入のカタログに包んで野菜保存袋に入れている。買ってきたその日に切り分けてジップロックに入れ、冷凍もしくは冷蔵などしている。

■肉の冷凍の時、間にオープンペーパーを挟んで冷凍するとくっつかず小分けにして使えます。

■もやしは水の入ったタッパーに入れ保存している。

総代通信2号

2023年4月24日発行
生活協同組合コープおきなわ理事会
電話：098-879-1144（総合推進室）
FAX：098-879-1199

はじめに

2月地域別総代会議へのご参加、そして、アンケートの提出ありがとうございました。貴重なご意見は、今後の運営に活かしていきます。振り返りをお送り致しますので、ぜひご確認ください。

「2月地域別総代会議」参加申込：364名、 257名の方がアンケート提出されました。

2月地域別総代会議について、3つの参加方法（①動画視聴、②資料を読む③会場参加（ZOOM含む））で案内したところ、総代、オブザーバー445名中、364名の方より参加申し込みがありました。

また、期日までに257名の方からアンケート提出がありました。

■総代の事前申込状況

	第48期（今年） 事前申し込み人数	第47期（昨年） 事前申し込み人数
① 動画を見る（ことでの参加）	76名	77名
② 資料を読む（ことでの参加）	183名	193名
③ 会場参加	96名	なし
④ ZOOM参加	9名	15名
総計	364名	285名

※ご自分に合った方法でお申込みいただき、アンケートを提出するまでが「参加」です。

■2月地域別総代会議への参加・アンケート比較（昨年、2月地域別総代会議と比較）

事前申込・アンケート提出率ともに大幅に伸長しています。（事前申込：79件増加、アンケート：76件増加）

※昨年456名、今年445名の総代・オブザーバー対象															
		北部	うるま市	沖縄市	中部	宜野湾中城	浦添市	那覇東	那覇西	南部西	南部東	宮古	八重山	総計	割合
昨年	事前申込	23	21	38	18	22	28	34	39	19	25	7	11	285	63%
	アンケート	13	13	22	12	12	12	18	27	18	13	6	9	181	40%
今年	事前申込	21	32	45	34	33	32	47	45	33	24	8	10	364	82%
	アンケート	13	20	37	18	22	24	34	34	20	20	4	11	257	58%

■アンケート提出（257枚）

設問：2月地域別総代会議の内容理解について

	※（ ）…内、新規総代人数				
	よくわかった	ある程度 わかった	あまり わからなかった	回答なし	総計
回答数	110(21)	135(42)	7(1)	5(3)	257(67)
割合	43%	53%	3%	2%	100%



2 月地域別総代会議アンケート等の声

2 月地域別総代会議でお寄せいただいたご意見ご感想の一部をご紹介します。

※頂いたお声は、該当部署の職員で共有し、今後の検討に活かさせて頂いております。

1. 店舗事業	
①	店舗で、魚を購入する時、量が多いので分けて販売してくれるので少人数の家族は、とてもありがたいです。
②	コロナ禍で人々の生活様式が様変わりし、家庭での健康的かつ安全な食事が健康維持のために改めて見直されてきたことを実感しています。他店ではありますが、ハッピーモア市場はそのようなニーズを見事に捉えて客数がコロナ前の倍になったとのこと。コープさんはもっとトータルで安全な生活のサポートができる存在なので、もっとたくさんの方にコープの良さが広まるといいなと感じました。
③	エシカルの取り組みについて詳しく知れた。2024 年度 10 号店オープンが気になる。
④	店舗のおそうざいコーナーの商品の残量が気になります。仕事帰り 6 時頃から割引対応したら購入したい。
⑤	食品ロスをなくす取り組みはわかりますが、行事当日に、商品が店頭が無いのは残念でした。「特にムーチー」
⑥	高騰する電気代をコープエナジーの電気で賄うことは難しいのでしょうか？理想は屋上駐車場に太陽光パネルを乗せた屋根付き駐車場を設置していただきたいです。

2. 協同購入事業	
①	協同購入インフラを活用して贈答品等を回収し社協等に提供するという案はとても良い取り組みだと思いました。気軽に商品を渡すことができるので両面から見て良いシステムになるのでは。
②	体に良い食品として、有機(オーガニック)関係の商品を、たくさん、カタログにものせて欲しい
③	利用者を増やすというのに、仲間づくりが不足していると書いてありました。内地では同じマンションでも隣にどんな人が住んでいるか知らないことも多いです。引越しの挨拶も防犯目的で、しないことも多いです。その点で、仲間づくりという発想は沖縄らしくて素敵だと思います。実際に沖縄に越してからご近所づきあいというのも少しですがあります。程よい距離感ということもあり、仲間づくりとまではいかないです。あと、内地では子どもが生まれたらとりあえずどこかしらコープを利用するということが多いです。ですが、沖縄では友達や家族が近くにいるからそういうことも必要ないと感じる人も多いのかなと思いました。
④	仲間づくりと平和の発信は生協の存続をかけた戦略だと思われますので、ぜひ腑に落ちるプランを構想していただきたいと思います。
⑤	配達効率の改善を望む。
⑥	紙カタログについてですが、希望者に全く配布しないのではなく、これとこれは配布するというような選択肢があると良いと思います。
⑦	孫が卵と小麦アレルギーがあり米粉を使うことが多くなりました。ピザ生地等も米粉で作られた冷凍食品があれば自分でトッピングして食べさせられるかと思います。
⑧	フレンドリーバナナは良い取り組みですが、最近の地産地消の農産物の扱いは消えてしまったのか、残念な状態です。安全な食品が生協に最も期待されていることを中心に活動して下さい。職員の教育は購買者に必要な情報を伝えられるように十分に時間を与えてください。単純労働者から責任の有る識者への育成をお願いします！
⑨	これからの人口減少、人手不足の叫ばれている中でデジタル化がすすみ私などは社会から取り残されていきそうです。COOP の配達システムに頼っている私のような存在は増えていくのではないかと感じたりしますが、どうなのでしょう。とにかく多くの人の知恵を集めて、今後とも住みよい会づくりをすすめていただきたいものです。
⑩	最近、沖縄そばがカタログに載っていないようなのでまた載せてくれたらうれしいです。

3. くらしのサポート事業、その他	
①	夕食宅配を利用している声がよく聞かれます。健康な方にとってひとり世帯の方に喜ばれているようですが、知り合いの方は透析していたり、その前段階でいる方にとっての配慮された弁当があるといいなという声も聞きました。ダイエットしたい方も冷凍弁当を職場に持っていかうかと話していました。

②	電力事業の損益圧迫。コープが電気の供給をしている事を知らない人が多いです。もっと周知させないと収益につながらないと思います。
③	高齢の母親が個人配達を利用してます。独居高齢者の安否確認サービスが利用できたらいいな、と思いました。自宅の週3回・隔週利用や、共同購入での安否確認サービスも進めて頂けたらいいなと思いました。
④	食事だけでなく、葬祭、でんき、共済など生活をトータルでコーディネートできる COOP さんの素敵な存在感をアフターコロナ・With コロナの時代にどんどんアピールして COOP ファンの仲間の輪が広がったら、さらにやさしい沖縄になれると思います。
⑤	お弁当(冷凍)とても助かる組合員さん多いと思います。介護だけでなく、アレルギー、高たんぱく、幅広いラインナップが増えるのを期待しています。

4. 暮らしづくり活動	
①	LINE や資料で、お知らせは見ていましたが、各ブロックの定期的な開催しているイベントに参加してみたい。
②	組合員が楽しめる取り組みが紹介されていてほっこりする気持ちになりました。コロナ禍も出口が見えてきた状況、2023 年度もみんなイキイキ活動できる社会になるといいな。
③	各地域の活動全てが、くらしや生活に役立ったり豊かになる素敵なアイデアや活動であるなあと感じました。
④	これまでの対面での活動に加え、オンラインを活用しての取り組み。複数の参加形式を取り入れたことで遠方のブロックからの企画も参加しやすくなった。
⑤	質問や意見にもしっかりと返答していて、"組合員とともにつくる"精神がこの会議からも感じられました。オススメ商品は普段買わない商品を知ることが出来て参考になりました!"
⑥	各ブロックの講座の動画アップも、もっと広げてもらえたら嬉しいです。PFAS 学習会にもとても興味があります。
⑦	SDGs&基本方針の優先課題の中の16「二度と家族を戦場に送ることのない平和な暮らしを子ども達へ引き継ぐために」の具体的な行動に参加していきたい。軍拡が進む国策の中で戦争の準備は、嫌だの声を上げていきたい。孫の為に!!
⑧	コロナで増えた利用の維持の為に、商品部や推進室、若手職員等が地域を分けて、商品に関するイベントをするのはどうかな?と思います。商品の学習、短時間のグループ交流、まだ試食は無理でも試食品をお配りするなど、組合員、未組合員もお呼びできたらいいのでは、と思いました。これからもっと出かけたいと思う方増えるでしょうし、生協ならではの企画をするのがいいのでは、と思います

5. 経営について、方針について	
①	・コロナ禍(感染症)、ウクライナ(戦争)環境(地球の温暖化)等々問題がいっぱい。このような先のみえない時代、不安ばかりが広がる。2030 年への種まき(アクションプラン)に希望を!
②	先の見通せない時代だからこそ、3 年、10 年と長いスパンでの計画づくりが重要で 3 カ年アクションプランにより 2030 年時点での、ありたい姿の実現を目指し、未来づくりの為に種まきをする事が大切。人生 100 年時代、安心して暮らし続けられる地域社会づくり貢献。
③	目標項目が多岐にわたり読んだだけではわかりにくい。説明が必要。やることをもう少し絞ったほうがいいとおもいました。
④	バック部門の方針にある人事総務部の取組に、「年齢や障害の有無を超えて活躍できる」働き方を進めるとあり、応援しています。ダイバーシティや包括的な地域社会といいますが、就労となると現状では活躍の場どころか居場所さえ作りにくい企業が多いのではないのでしょうか。本当に必要な理解や配慮は、本人に向き合わなければ構築できませんが、どの企業でもできるわけではないようです。コープで作った事例や取組は、ぜひ広く発信して、沖縄の労働環境に革命を起こしてほしいです。

6. 総代会議の運営・資料について	
(1) 総代会議運営について(総代について)	
①	総代会議において、コープの事がよくわかる内容でした。特に質問があったフードロスについて丁寧に答えて頂き、会場参加する事で資料以外の内容も勉強する事ができて良かったです。

②	スマホで動画が視聴できたので、初めて動画視聴で参加しました。音声と資料(画像)の組みあわせで、わかりやすく、老眼の進み始めた目に無理なく、とても良かったです。
③	スライドと一緒に資料を読めて分かりやすい。アナウンサーの声が聞き取りやすい。ただ、長かったです。文字が多くて、絵が以前より少なくなりましたね…
④	事業の状況やコープおきなわの現状は資料を読めば、ある程度分かるが、総代さん(特に新総代さん)や組合員さんが、具体的に何をすれば良いのかが伝わりにくいな?と思いました。(例えば、あと1品多く購入しましょう!だと分かりやすいかな?)
⑤	総代になってからコロナでほとんどメンバーの方たちと交流出来なかったもので、初めての参加は緊張しましたが、皆さん優しく安心してました。
⑥	交流会で、いろいろなお話が聞けるのが楽しいです。もっと、時間があればいいと思います。
⑦	なかなか、コープ商品を自分で購入する機会が無いに関わらず、総代を引き受け「私でイイのかな?」と思いますが、総代会議や、LINEなどの情報に触れる事で自分の意識も高まります。
(2) 総代会議資料について	
①	資料をわかりやすく作る努力が毎回伝わってきます。カタカナ・アルファベット表記が増えるのは、国際化・IT化が進む今の社会では必要なことと思います。
②	2023年度方針(案)については、とても盛りだくさんで、VUCAのような初めて聞く言葉もあり「よくわかった」とは言えない感じていた。資料を読み返したりして、もう少し勉強したいと思います。
③	後編の事業報告はやはり難しかったです。累積赤字がもう少しでなくなりそうな時に「ブーカの時代」という新しい難局に直面しているのはコープ以外でも同じだと思います。次回は具体的なアクションプランの詳細も知りたいです。
④	事前に目を通したが、意見でもあったように章立てがあるともっと分かりやすいです。



ご質問・ご意見 ～回答付き～

2月地域別総代会議のアンケートでお寄せいただいたご質問への回答を掲載しています。

1. 事業系

①	Q:P15の電気自動車移行はもっと説明が必要かと思います。 A:全国の生協の仲間とともに策定した「2030環境サステナビリティ政策」の中で、2030年までに、「CO2排出量を2013年度比で46%削減する」という目標を掲げています。電気自動車への切り替えは、目標達成のための具体的な施策のひとつです。しかし、コストの面や電気料高騰など社会情勢等もあって、慎重な判断が必要という認識です。2030年までの間に、切り替えの目途が立った際は丁寧にすすめていきます。現状として、CO2削減の取り組みについては、今でできること、組合員さんとともに取り組めることを優先しすすめていきます。
②	Q:円安と電気代高騰が経営にどのように影響しているのかもうちよっと理解できたらと思いました。 A:世界的な資源不足に加え、天然資源の大半を輸入に頼る日本は「円安」による相対的な通貨の価値下落が追い打ちをかける形であらゆるモノの価格が上昇しています。特に電気代はロシアのウクライナ侵略以降、過去に例を見ない上昇となり、コープおきなわでは、2022年度は21年度に比べおよそ5千万円、2023年度は使用量が22年度同程度とした場合、さらに1.6億円程度増加する試算となっています。また、電気料金の高騰は他製品にも影響するため、コープおきなわが事業に使用する資材(協同購入カタログなど)も軒並み値上がりし、これらも収益を悪化させる要因となります。さらに電気料金高騰に加え、小麦など食料価格の上昇も続いており、輸入に依存する日本は、円安により原材料価格が高騰しており、それが商品の仕入れ価格などにも影響しています。
③	Q1:現金の流失はありませんが、当期剰余金を減少させるとは? A1:「減損会計」は過去の投資について、一定の基準(土地であれば現在評価額が取得時の50%以下の評価となるなど)に基づき、持っている資産の価値を減少させる会計上の処理のため、それにより新たに現金が流出するものではありません。単年度の事業結果である「経常剰余」には影響しませんが、減損会計によって生じた減額

	分は貸借対照表に反映します(関係団体出資金を減額し、同額の純資産を減少させます)。コープおきなわは累積損益があるため、結果的に当期剰余(税引後の利益)の減少となります。 Q2:「VUCA の時代ですが、繋がる力と組合員の声を聴き応える力を磨き高めて、乗り切ってまいります」と結んでおりますが具体的な説明が欲しい。 A2:2月地域別総代会議の2023年度方針で施策を提案しています。過去の高度経済成長期と異なり、先行きの見通せない VUCA の時代を乗り越えていくには、コープおきなわ単独ではなく、他団体や行政・地域などとの連携が大切なこと、そして、組合員の声に基づく事業・活動の重要性を端的に表現したものです。 Q3:「出資金をはじめとした現金管理を強化」と有りますが、今まで、どの様に管理され、これからどう強化されるのでしょうか? A3:コープおきなわでは商品仕入れ代金などの支払いに備えて金融機関に「短期借入枠」を設定しています。(業者や生産者からの商品仕入れ代金の支払い日と、組合員からの入金日には数日の時間差があるため金融機関から借り入れ、すぐに返済するしくみです)。現時点では現預金にゆとりがあるため、「短期借入枠」はあまり使用していませんが、2023 年度より法令・定款に基づき減資は年 1 回となり、一定程度「減資」が増加するものと見込んでいます。それに備え、期間ごとの資金繰りを注視し、必要に応じて手持ち資金にゆとりを持たせるため「短期借入枠」の利用を検討します。併せて、組合員の皆さまには無理のない範囲での増資を引き続きお願いします。
④	Q:ロシアによるウクライナ侵攻後、エネルギーや食糧の物価が上昇しています。最悪なことに、日銀の金融緩和政策により円安が続く、物価上昇に拍車をかけています。生協としてインフレ対策は何か考えていきますか。共同仕入れ協同購入が基本だと思います。 A:協同購入と店舗を一体とした商品調達や、日本生協連及びコープ九州との共同調達など、仕入原価の上昇を抑える取り組みなどをすすめ、値上げ情勢が続く中、組合員さんのくらしに少しでも貢献できるように取り組んでいきます。
⑤	Q:コープの商品は高いです。真の「経済的弱者・生活困窮者」は低価格で食品を買える店へ行くと。「商品の価値」がわかる人へのみ販売するのは「消費者のくらしと健康を守る砦」と言えるのでしょうか? A:事業規模(商品仕入力など)や商品政策(再生生産価格の保証や商品検査コストなど)の違いなどもあり、「一般品の価格差」や、「品質へのこだわり」などから、他の量販店に比べ割高になっている商品があり、ご指摘にあるような声をいただいております。プライベートブランドのコープ商品や、ご利用の多い商品を中心に、いつでもお求めやすい価格設定(EDLP:エブリデイ・ロー・プライス)をすすめ、より良いものをより安くご利用いただけるように取り組んでいきます。「消費者のくらしと健康を守る砦」とは、生協の設立趣意書でうたわれている一文です。相次ぐ食料品の値上げや電気料金などの高騰は、47年前と同じように、消費者のくらしに重くのしかかっている状況と認識しています。ご意見を受けとめ、少しでも貢献できるように経営構造改革に努めます。
⑥	Q:人口減少・超高齢化社会で、食料品に対する支出が減少する見込みが公表された中、コープおきなわが食以外の分野で事業構築が急がれる課題とあるが、具体的にどのような事業? Q:食以外の分野での事業構築が急がれるとありますが具体的に説明と詳細を知りたいです。 A:食以外の分野で地域の困りごと解決に貢献できる事業は何か、現時点では具体的に決まっておりません。しかし、沖縄県においても人口減少、超高齢化社会を迎えるなか、介護、子育て支援に対するニーズは高まることと思われます。他生協では食分野以外の事業として「介護支援事業」「子育て支援事業」などに取り組んでいる生協もあります。まずは先進生協、他社が取り組んでいる事業についての学びと情報収集・調査から始めます。
⑦	Q1:①P12.減資を年 1 回に変更後出資金が減少傾向に転じているのはなぜだと思いますか? A1:生協法及びコープおきなわ定款では減資について「事業年度末日の 90 日前(前年 12 月末)までに申請のあった分を、事業年度の終わり(3 月末以降)に返金することができ」と定めています。これまでコープおきなわは組合員からの要望を受けて、これを年 2 回、月 1 回、随時の受付・返金と対応を緩やかに行ってきました。しかし、県からの指摘もあり、これを法令・定款にそった「原則的運用」にあらためることとしました。「原則的運営」への移行は組合員の混乱を避けるため、2017 年度より段階的(随時から月 1 回を経て年 1 回)に実施し、いよいよ 2023 年度から減資は年 1 回の原則的運用となります。この間、ダイレクトメールや機関誌等で案内してきたこともあり、減資される組合員が徐々に増加していますが、現段階の減資件数・金額は当初の想定を下回っており、組合員の皆さまのご理解とご協力に感謝いたします。引き続き、組合員の皆さまには無理のない範囲での増資の取り組みへのご参加をお願いします。

	Q2:減資の理由はわからないが、減資が毎年 2.9 億円とすると出資金 58.4 億円は、20 年間でゼロになりますか、大丈夫ですか。何か対策を考えていますか。生協運動に対する共感者をいかに増やすかがカギだと思いますか？ A2:減資の状況は上記回答をご覧ください。対策については、ご意見の通り、生協の事業・活動についての「共感」をどれだけ増やせるかだと思います。
⑧	Q:宅配の発泡スチロール→Lボックスとありましたが、Lボックスとはどんなボックスですか？ A:正しい表記はカタカナで「エルボックス」でした。訂正いたします。「エルボックス」とはいわゆる大型の保冷箱のことで、これまで冷蔵商品は発泡スチロールの保冷箱に組合員さん個人ごとに集品していました。これからは大型の保冷箱に3人分ぐらい入れてトラックに積み込み、荷下ろしの際は集品袋に貼られたお名前を見て作業を行うことになります。留守の際はこれまで通り発泡スチロールに入れて品温管理した状態でお届けします。これにより箱数が減りトラックの積載効率がよくなり、荷台のスペースで地域担当者の作業がやりやすくなる等の改善につなげていきます。
⑨	Q:チラシの件、品物の発注数など、統計がとれませんか。やたら、どんどん、ふえていく感じがしています。「安心安全」市中のスーパーと(同じ品物)競合しなくても、よいのでは。 A:ご意見ありがとうございます。多様化する組合員のくらしや品揃え要望に応える為にこの間チラシが増えてきた経緯があります。企画アイテム数は商品セットセンターのキャパシティもありますので無限大で増やせるものではありません。その範囲の中で定期的に利用状況に応じてあつぷる本紙や別チラシの見直し行っております。2023 年 4 月のカタログから一部の食品、雑貨チラシ、あつぷる本紙のページの縮小を行いました。多くの組合員さんが限りある時間でカタログやチラシを見ていただけるよう引き続き調査し改善していきたいと考えております。
⑩	Q:P15.エシカル対応商品アイテムを週当たり 40 から 100 に増やすとあるが、週でそんなに増やせるのかな？ A:2022 年度は週当たり 140 アイテム(点数週当たり 47,000 点)となっており、昨年(21 年度)の35~40アイテムからプラス 100 アイテムほど増やす事ができました。特にケース類に使用する段ボールの重量削減やラベルレス(ラベルのない)商品の企画を中心に、エシカルの取り組みを進める事ができました。
⑪	Q:e フレンズを利用しています。e フレンズの“マイページでポイント確認やポイントをつかえるようにしてほしいです(それとも私がわからないのかな?) A:ご不便をおかけしております。協同購入事業でポイント制を導入しているのはコープおきなわだけという事もあり、コープ九州全体で運用している e フレンズに反映することが難しい状況です。現在はマイページの「コープのお届け情報・明細」からお届け明細を見にいかないとポイントが確認できません。9月リリース予定の「コーププラス」というアプリでは、明細書まで見に行かなくてもアプリの画面で確認することができるようになり、現在よりも若干ですが使いやすくなる予定でございます。今後もより使いやすい仕組みをめざしていきたいと思っております。
⑫	Q:いつもくんを登録してますが、登録の変更の方法があまり良く分からない。「0」を毎週記入するだけしかできないのでしょうか？その商品自体を削除する事は出来るのか？知りたいです。 A:注文書(e フレンズ)の注文番号記入欄に、その商品の6ケタ登録番号を記入し、注文数欄に「0」と記入すれば解除(登録削除)することができます。例:コープ牛乳を毎週利用で登録している場合、登録番号「100772」と注文数「0」を記入。登録番号は「いつもくん保存版チラシ」やeフレンズのWebカタログや商品名検索(例えば「利用登録 牛乳」で検索)でご確認いただくか、地域担当者・組合員サービスセンターへお問い合わせ下さい。「いつもくん」の登録は注文忘れを防ぐだけではなく生産者やメーカーさんの「生産支援」にも繋がりますので引き続きよろしくお願い致します。
⑬	Q:沖縄の離島に住んでいるのですが、商品が手元に届いた時には食パンの賞味期限は届いた次の日。牛乳は4日後。。。賞味期限に余裕のあるものがほしい。仕事をやすまず、1週間買い物にいかない状態をつくりたいためのコープなので改善してほしいです。 A:ご不便をおかけしてしまい申し訳ございません。商品の多くは九州から船便で1日かけて沖縄本島へ入荷します。そこから商品セットセンターで仕分けや集品作業を行い各センターへ届けるまで2日。離島の場合はさらに1日、周辺離島だとあと1日はかかってしまい現在のところ物理的に改善する事が難しい状況です。協同購入は1週間に一度しかお届けしないしくみである事から、消費期限の長いパン、冷凍食品や冷凍パン、常温で長期保存できる牛乳なども品揃えしております。ぜひ、組み合わせてご利用頂ければ幸いです。今後とも、よろしくお願い致します。

⑭	Q:去年は台風が続いたことで、荷物が届かないことが多かったです。船で運ぶのだから仕方ないけれど、届けられなかった商品が全部破棄になってしまっているのかと思うと、すごく心が痛みます。自然現象とはいえ、何か活用できないことがないのか。 A:ご意見ありがとうございます。また、台風接近の際には組合員さんに十分な商品をお届けできないことを大変心苦しく思います。申し訳ございません。台風時に商品の入荷が遅れるなどしてお届けできなかった商品については、「おきなわ子ども未来ランチサポート」「フードバンクセカンドハーベスト沖縄」「社会福祉協議会」などを通じ、地域の「子ども食堂」や支援を必要としているご家庭に提供するようにしています。そのため、ご心配頂いているように商品を廃棄することはほとんどありません。このような取り組みをもっと多くの組合員に知って頂けるように広報も強めていきたいと思います。
⑮	Q:グループ交流の時間けなかった「あらぐさ」循環型野菜とはどんなことですか？ A:コープの店舗で出た野菜クズや魚のあら、賞味期間切れの廃棄商品などを「あらぐさ」さんが回収し、たい肥として野菜を育て、コープの店舗で販売する事を循環型野菜と位置付けています。
⑯	Q:P18 店舗事業方針の2 新規出店に関して赤字店舗を増やすことになるのでは？疑問です。 A:店舗事業では利益から経費を引いた段階で黒字となっていますが、直接の供給事業ではない本部などの事業経費(人件費+物件費)を加えると赤字になっている状態です。出店する事で店舗段階での黒字額を増やし、本部を含めた事業経費(本部配賦経費)を差し引いても黒字になるよう取り組んでいます。
⑰	Q:店頭の商品選びに、商品へアピールポイントを記載すべきだといった意見に対しまして、【店頭の商品の映像へ誘導する QR コードがありますので、そちらをぜひご活用ください。】や【ロコミで広がったコープですの、】といった回答がございましたが、個人的な意見としましては、店頭へ出向いて買い物しながら悠長に気になった商品の QR コードにスマホを充てている時間はないです。そのくらい主婦は時間が迫っていることを考えて頂き、商品のパッケージへ一言だけアピールポイントを加えて頂きたい、それだけのことです。安心、安全を謳っているだけではなく、もう少し具体的に〇〇無添加、減農薬、無農薬、など一言記載があるだけでも消費へ繋がりますが、良い商品なのに記載のない商材が多く売り逃しにつながるとおもいます。食品メーカーさんでは当たり前のように記載があります。商品がより売れることは本来大事なことでないのでしょうか？様々な事業も大事でしょうが、原点に戻り、ロコミだけに頼らず、商品デザインや売り方を見直すことも大切ではないでしょうか？ A:大変貴重なご意見を頂きありがとうございます。コープポークランチョンミートは1988年に組合員と共に開発し30年以上ご利用頂いている商品です。2020年6月に原料を全て国産にすることや開封しやすいイージーオープン缶にすることなどを主な要件として組合員の声聴きながらリニューアルを行いました。その際に「発色剤」を使用していない類似品が他社のPBにあった事もあり、「沖縄県豚肉100%使用」や「原料は全て国産です」というキャッチや文言をパッケージに目立つように記載した経緯がございます。リニューアル後にも「ラベルが剥がしにくくリサイクルしにくい」との声から2021年9月には、「剥がしやすいラベル」に改善し、現在に至っております。ご意見の通り「発色剤不使用」などもっと良さが伝わるような表現は大切だと受け止めております。商品の表示については「農水省のガイドライン」や「消費者庁の食品表示法」に加えて「コープ商品食品表示の原則」に基づき組合員に誤解や過度な期待を与えないように細心の注意を払わなくては行けませんので、日本生協連やコープ九州事業連合の専門部署にも確認をしていながらパッケージ変更が可能か検討していきたいと思えます。また、ポークランチョンミートに限らず店舗のPOPや協同購入でのカタログでもより多くの方に知って頂けるような表現や表現方法も引き続き改善していきたいと思えます。
⑱	Q:商品処分、食品廃棄、店舗で、コーナーをつくり、売っては、どうですか？ A:温度帯などの制約もありますが、コーナー化し、まとめた方が良いのか、決まった場所(定番)で比較購買できた方が良いのか、利用のしやすさも含め、試行錯誤しているところです。
⑲	Q:最近、近くの某スーパーがセルフレジになりました。(1台は有人のセミセルフ)最初はドキドキでしたが、性能が良く、楽チンで便利でした。(しかもちょっと楽しい)もう予定しているのかもですが、人手不足や人件費の問題もあると思うので、コープ店舗でも検討されてはどうか、と思いましたが(がいかがでしょうか)。 A:レジ機器も日進月歩で進化しており、利用のしやすさや人員配置(採用難)などを含め、コープでも次回のレジ入れ替えに向け検討を行っているところです。投資や機器の耐用年数もありますので今しばらくお待ちください。
⑳	Q:店舗がない地域に移動販売は可能ですか？(半調理製品(等を販売する)) A:現在、CこくばとC美里の2店舗にてまちかど便(移動販売車)事業を行っています。生鮮品、惣菜品、食品・冷凍・雑貨などを車両に積み店舗の無い地域へも出向いています。運行しているエリアはCこくば、C美里から半

	径8kmを目途としていますのでその範囲であれば、ご利用いただけます。
②①	Q:ネットスーパーのように、店舗にある商品を注文すれば届けてくれるシステムがあればいいと思います。 A:システム開発・採用・集品スペースなど、費用や建物構造上で多くの課題があります。人口の密集している首都圏の生協で、実施しているところがありますが、経営的にはまだまだ不安定な状況のようです。今すぐネットスーパーを始める事はできませんが、事業的に成り立つのか他生協の取組などの情報収集を続けたいと考えています。
②②	Q:フードロスと子供の貧困に関して、組合員の家庭に眠っている食品など、何とか困っている人の役に立てる方法はないでしょうか？ A:これまでも、台風など船の到着遅れて組合員へお届けできなくなった商品を社会福祉協議会などへ無償で提供し、各団体を通して地域の子ども食堂や支援を必要としている世帯へ食品をお届けしてきました。今年度より組合員さんのご家庭で眠っている食品を協同購入、店舗にてお預かりし、支援を必要としている世帯へお届けする「フードドライブ」の準備を進めていきます。準備が整い次第、組合員さんへお知らせをしていきますので、その際はぜひご協力を宜しくお願い致します
②③	Q:葬祭の新規事業の調査をすすめるとのこと。組合員へどのような事業をしてほしいのか、アンケート調査などの予定あるのでしょうか。 A:現時点で今後どのような事業を展開するのか決まってはいませんが、まずは他生協の事業（ペット葬、納骨堂、霊園など）についての情報収集から始めます。必要に応じてアンケート調査なども検討します。その際にはご協力お願いいたします。
②④	Q:葬祭についてひやごんホール良いと思いますが、那覇市内にあってほしいです。 A:那覇地域は葬儀依頼の多い地域であり、1号会館建設に向け、立地調査などを行ってきましたが希望する立地が見つかりませんでした。現時点ではひやごんホールの運営に注力しつつも那覇・浦添エリアにおける立地情報収集を継続してまいります。
②⑤	Q:コープハウジングのエアコン清掃がネット受付になったのがとても助かります。毎年不定期でキャンペーンが開催されていましたが、今後は予定はないのでしょうか。清掃スタッフの対応が素晴らしかったので毎年利用していました。キャンペーンがあると家計も助かるのですが... A:エアコン清掃のご利用ありがとうございます。エアコン清掃を担当している工事店の皆さんにもこの声を伝えます。エアコン清掃キャンペーン（2月27日～5月31日）を開催します。複数台お申込みの場合、2台目以降はさらにお得になりますのでどうぞご利用ください。

2.電力事業

①	Q1:(コープエナジーについて)再生可能エネルギーの普及拡大を目的に設立された普及状況の現状を教えてください。 A1:組合員さん宅の屋根に取り付けた「太陽光発電の無料設置数」は123台となります。 また、既に組合員さん宅で設置された「太陽光発電のFIT・卒FIT契約」は282件となります。 Q2:コープエナジーの影響を3つあげていますが、全くの他人ごとのようにしか受け取れず、出資者である組合員への謝罪の念を感じ取れないのは私だけでしょうか？ A2:不十分な説明が起因してのご指摘と受け止めています。本来であれば、2022年度決算を終え、正確な事業実績などを示し丁寧に報告することが望ましいのですが、昨今の社会情勢の変化（エネルギー関連の高騰）もあり、早めの情報共有が必要と判断し、12月末時点での現状報告にとどめさせていただきました。ロシアのウクライナ侵攻や、かつて、経験したことのない円安など、想定できなかった事態とはいえ、経営を預かる理事会（理事長）として、お詫び申し上げます。 Q3:コープエナジーへの投資額（資本金出資）分を減資とは？ A3:コープおきなわの「おきなわコープエナジー社」への出資総額は1億1500万円です。2021年度末には経常剰余も黒字になるなど、経営は軌道にのりつつありました。しかしながら、昨年2月のロシアによるウクライナ侵攻等による世界的な燃料価格の高騰のあおりを受け、業績は暗転し、2022年11月時点で1億7,462万円の赤字となりました。この状況は、金融商品会計基準にもとづく「子会社株式の減損処理基準」に該当することから、コープおきなわの出資額は減損損失の対象となり、2022年度末に減損損失として計上する事としました。 Q4:コープエナジーの代表者が変わったのですね、プロフィール等紹介下さい。
---	--

	A4:代表取締役社長:田場 直樹(1969年生まれ) 1990年度入協(北谷支所) → 1995年度(商品部) → 1997年度(コープハウジング) 2014年度(総務部部长) → 2020年度(コープエナジー出向) → 現在に至る。
②	Q:電気代の高騰はコープの電気自動車の電気代にどんな影響がありますか? Q:CO2 排出量削減で業務車両の電気自動車への切り替えとあるが、電力仕入価格が急騰する中で経費的には負になるのではないかと? A:全国の生協と一緒に、2030年度の到達目標を定めて、準備をすすめているところです。導入コストや現在の情勢(電気料高騰)など、現時点ではハードルが高く、電気自動車への切り替えはまだまだ先になる見通しです。ご指摘のように、「経費負担の側面」からの判断は重要と受け止めています。慎重に対応します。
③	Q:電気、水道などの光熱費の高騰に対する節約や対策を具体的に示してほしい。 A:2022年度は前年に比べおよそ5千万円の水光熱費増(主に電気代)となりました。2023年度は22年度よりさらに1.6億円程度増加する見込みです。コープおきなわでは以前より、環境負荷の低減の取り組みの一環として使用電力の削減に取り組んでおり、22年度は21年度に比べおよそ0.7%の使用量削減となっています。しかし、使用削減量を大きく超えた料金の値上がりで負担額は上記の結果・見通しとなっています。 これまでの主な取り組みと今後の取り組みは下記の通りです。今後もさらなる削減目標を掲げ取り組みます。 ①店舗、協同購入センター、本部事務所設備の省エネ機器への切り替え(継続) ②事務所内照明のLEDへの切り替え(随時切り替え中) ③空調機使用時の適正室温設定、不使用時の電源OFF、協同購入センター冷凍庫の週末停止などの徹底(継続) ④事務所使用電気のおきなわコープエナジーへの切り替え(現時点で沖縄電力より大規模事業所で約2%、それ以外の事業所で10%ほど安い電気料金となっています。) ⑤「コープおきなわ環境サステナブル 2030」で掲げた「再生可能エネルギー5000wの開発・利用(標準家庭150戸の1年間の電気使用量相当)」目標の前倒し達成。 ⑥協同購入カタログのページ数削減(64P~60Pへ4ページ削減 23年度4月1回カタログより実施)
④	Q:おきなわコープエナジーの経営状況は電力の急激な情勢変化もあり、どうなっているのか気がかりでした。今後も沖縄電力の値上げとかあるし。おきなわコープエナジーは資本金出資額分を減額されてもやっていけるのですか。 A:おきなわコープエナジーの最大の経営課題は「仕入価格が異常に高騰し続ける中でも、利用者へ請求できる上限額(国の施策)が設けられているため、価格転嫁できない分の負担が重いこと(その分が赤字に)」と、「売上金回収のスケジュール(代金回収の前に、支払いがある)を見直すこと」の2つです。前者は沖縄電力の自由料金と同様に値上げを行い対応します。後者については、口座引き落とし日を現在の27日から20日に変更することでタイムラグを解消します。2つの経営課題への対応で同社の経営は改善される見通しです。利用者の皆さまに理解と協力をいただき、経営改善をすすめていきます。なお、「資本金出資額分の減額」は、コープおきなわの資産の減額であり、エナジー社の資金が減少するわけではありません。
⑤	Q:電力の買取サービスや、おきなわコープエナジーのこと、もう少し詳しく知りたかった。 A:コープエナジーの主な事業内容は、「電気の小売業」「LPガスの斡旋」「灯油の定期配送の斡旋」です。特に、コープでんきとLPガスをセットで申し込むと、それぞれ基本料金から100円/月(2,400円/年間)値引きとなりますのでお得です。他社との比較だとCMなどでおなじみのセット割は年間で600円なのでお得です。また、再生可能エネルギーを最大限利用する取り組みとして、組合員さんのお宅の屋根に太陽光発電の無料設置や、既に組合員さん宅に取り付けられている太陽光発電で余った電気を「沖縄電力」よりも高く買い取り、「再エネの活用と普及」を促進しています。あわせて、地域との関りは、与那原町が推進している「脱炭素先行地域」のパートナー企業として脱炭素化に向けて一緒に取り組んでいます。詳細については、ホームページか案内パンフレットをご参照下さい。
⑥	Q:コープエナジーが赤字の件。組合員の為とはいえ利益が出ていないのであれば、電気代をあげるしかないのでは?と思いますがそれは出来ないのでしょうか。 A:本年4月より、「沖縄電力」の自由料金と同様に値上げを行います。値上げ後も、「沖縄電力」の従量料金との価格差を維持できるように改訂する計画です。利用者の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしますがご理解いた

	だき、ご協力をお願いいたします。
⑦	Q:コープエナジーが大変心配でした。沖縄の電気料が上がると、コープエナジーの電気料も同じ割合で上がるの ですよね？再エネルギーの推進に向け、災害や停電、有事に強い小型家庭用ソーラーパネルや蓄電池の貸出や、 購入を新規事業で検討するのはどうでしょうか？ A:本年4月より、「沖縄電力」の自由料金と同様に値上げを行います。値上げ後も、「沖縄電力」の従量料金との価 格差を維持できるように改定する計画です。ご提案のレンタル事業につきましては、レンタル商品を揃えるために は一定の資金が必要となるため、現時点では厳しいと考えます。資金繰りに余裕ができましたら改めてご検討さ せて頂きます。

3.くらしづくり活動

①	Q:情報不足「やなえもんさん」とありますが、知らないで教えてください。 A:“やなえもんさん”は、社会問題化している貧困やいじめ、年々増え続けている未成年の自殺、無くならないペット の殺処分をテーマとした「いのちの授業」の講話を県内各地の学校を中心におこなっています。2015年からうる ま市役所環境課で動物に携わる仕事を担当し「殺処分される動物（ペット）の現実」を目の当たりにしてきた経 験から、「動物の殺処分ゼロ」を目指しこの活動を始めたとの事です。紙芝居をつかった「いのちの授業」で“命 どう宝”いのちの尊さを伝える活動を精力的におこなっています。
②	Q:各ブロックの活動が多岐にわたっていて、どの活動も面白そうだが、あまり知られてないと思う。私は浦添市ブロ ックですが、活動は限られた組合員のグループで行われているのでしょうか？物価高、燃料高で日々の暮らしに 不安がある中で、コープの利用を通してより良い暮らしをしたい。コープの関わる分野が多くて、どれも興味ある が、自分が参加できることが分かりづらいように感じる。 Q:北部コープ宮里まわりのゴミ拾い隊大会、3回あったのですね。店舗に行く回数が少なく、1度位はチラシを見た 気がしますが、宅配の資料入れていただければ...？ A:地域ごとのブロック協議会や推進委員会が主体となり、様々な企画・運営をおこなっています。企画やイベントは、 誰でも自由に参加できるものとなっていますが、多くの企画・イベントが不定期でおこなわれていることから「案 内がわかりづらい」とお感じになったのではないのでしょうか。現在、企画・イベントの告知は、コープおきなわ組合 員向け機関紙“ういずコーぷ”の「今月のお知らせ」ページや、協同購入利用明細書メッセージカード、ホームペ ージお知らせ欄、Instagramにておこなっています。なお、2023年度には、ポータルアプリ「コーププラス」の導 入を予定しています。アプリのカレンダー機能にアクセスすれば、生協のイベント情報（各ブロック企画や店舗の 周年祭など）を瞬時に知ることが出来るようになります。また、将来的には、一人ひとりの組合員さんが、過去に参 加したイベントの情報を蓄積することで、様々なイベント情報の中から、その方に合った（興味のありそう）イベン トの情報を適切に提供することも可能になります。これからも、くらしづくり活動への参加を宜しく願います。
③	Q:くらしづくり活動について。スタッフ体制については、どの位進んでいますか？現在の3名体制のままで、コロナ禍 は進めて来たと思いますが、組合員の”つどう”場の充実が必要だと思います。コミュニケーション能力うんぬんと言 う前に人育ても必要だと思います。 A:これまで、事務局スタッフの退職や異動などがあり、くらしづくり活動への支援が行き届いていない状況もあった かと思われます。申し訳ございません。この間もスタッフの採用を進めていましたが、採用には至らなかった経緯 があり3名体制となっていました。2023年3月にスタッフの採用が出来、現在は4名体制となっております。組織 内でも次世代を担う人材の育成についての検討、計画づくりに取り組んでいます。コープおきなわ全体のバラン スを考えながらの人員配置となりますが、くらしづくり活動の支援が停滞しないよう職員間で協力体制を取りな がら進めて参りますので、今後ともくらしづくり活動へのご協力を宜しく願ひ致します。
④	Q:「誰かの笑顔につながるお買い物」入荷遅延や消費期限間近、フードドライブなど食品ロスの観点から提供する 取り組みはとても良いことですが、受け取る側が「受け取りたい時」に「必要な物」を生協が提供できると、もっと笑 顔が増えると思います。その仕組みが「フードドライブ支援募金」なのではないでしょうか？ A:2022年度より「フードバンク支援募金」に取り組み、602,308円の募金が組合員さんより寄せられました。この 募金は、困窮世帯や社会福祉協議会、子ども食堂等へ食糧を提供している「おきなわこども未来ランチサポー

	ト」と「フードバンクセカンドハーベスト沖縄」の2団体へ贈呈しました。今年度も引き続き「フードバンク支援募金」に取り組みますのでご協力を宜しくお願い致します。また、今年度は新たに組合員さんのご家庭に眠っている食品をご提供いただき、支援を必要としている世帯へお届けする「フードドライブ」を協同購入、店舗にて取り組んでいきます。これから準備を進めていきますが、おっしゃるように「受け取る側が必要としている物を」に配慮しながら進めようと社会福祉協議会など協力団体へ聞き取りをしながら進めていきます。準備が整い次第呼びかけをおこないますのでその際は、ご協力を宜しくお願い致します。
⑤	Q:ブロック別活動では、やはり離島まで手が行き届いていないのが気がかりです。具体的な活動内容が共有できたら嬉しいです。また、講師派遣は離島は特別な予算設定(航空運賃、謝礼など)があると年に一度か2年に一度、コープ組合員のための場が設けられると思います。 A:離島への特別な予算設定はありませんが、22年度より導入している「地域活動支援制度」を活用いただければと思います。「地域活動支援制度」とは、地域の人々が社会的課題解決に向けて自主自発で活動する企画への支援を目的に、1企画3万円を上限に補助するものです。組合員さんが2名いらっしゃれば申請できます。今回は23年7月15日~24年2月迄の企画が対象です(申請メ切:4月末)。申請された企画は、ブロック協議会や理事で構成する組活委員会で話し合い、補助の可否を決定します。申請等の詳細は、ういずこーぷ4月号をご参照ください。
⑥	Q:沖縄の戦後米の食糧難に唯一助けてくれたミャンマーにお礼がしたい!ミャンマーで食糧難に合っている方々に恩返ししたい!コープで寄付や応援メッセージを募って欲しい!ニュースで無言の平和を祈るミャンマーの学生に罵声を浴びせてたのを見ると、メッセージだけでも届けたい!武力に命がけて闘い耐え忍ぶミャンマーの方々に寄り添いたい。台湾有事にならない為にも世界の平和に寄与するのはコープの理念にも合います。 A:軍がクーデターを起こしてから2年。解決の糸口が見えない中、苦難にあえぐミャンマー国民を支援したいとのご提案ありがとうございます。世界では紛争や災害等で支援を必要とする多くの人々がいます。しかしながら全てに対応することは難しいため、コープおきなわでは「募金の取り扱い規程」を設け、取り組む募金の種類や決定方法を定め、精査して取り組んでいます。ミャンマー支援募金については上記の理由により見合わせておりますことをご了承ください。 ■「募金の取り扱い規程」に則り、22年度コープおきなわが実施した募金 (1)定例募金(毎年定期的に行う募金。追加の際は理事会確認):「お年玉募金」、「フードバンク支援募金」 (2)災害支援緊急募金(被災者支援の緊急募金。理事長決裁):「トルコ・シリア地震募金」 (3)その他募金(特別に必要な時実施。常勤理事会で協議し理事長決裁):「ウクライナ緊急募金」

4. 総代・資料など

①	Q:P11:実効性のあるBCPの内容わかるように大きくアピールして欲しい。 A:離島県である本県は他地域に比べ、災害発生には海上輸送などの物流途絶による影響を大きく受ける可能性があります。また近年、サイバー犯罪による事業停止など新たなリスクへの備えも必要になっています。災害発生時にも可能な限り、事業活動が継続できるよう、事業継続のための基本的な方針をまとめた「事業継続計画」を策定しました。これに基づき各部署の具体的な計画づくりをすすめ、行政・自治体や各団体との連携・協力体制を盛り込んだ計画としていきます。
②	Q:資料の内容が難解です。読んだところで何がしたいのか何が組合員のメリットになるのか?訳がわからなくなりました。ブロック理事の視点や理解を感じません。上層部の業務優先ばかりで私たちの暮らしが反映されていない。この数年のコロナ剰余も利用UPと配達職員の功労によるもの、大切に進めてほしい。 A:「コロナ禍」ということもあり、限られた時間の中で取り組みの状況や計画を総代(組合員)にわかりやすく伝えていくため、動画による説明などの試行錯誤を進めてきました。報告・提案方法や運営のあり方については、アンケート結果では概ね肯定的な評価をいただいているものと考えていますが今後もさらに改善を進め、より理解の深まる議案提案を心がけてまいります。

③	Q:過去これまでに総代・オブザーバー・組合員さんから出た意見に対して、改善を図るよう働きかけたなど、具体的にこの会議がどのように役立っているのかと言った点が特に不審に思いました。2月総代会資料の2～3ページにある総代・オブザーバーの役割という項目のどれも満たされていないからです。それでアンケートをというのは正直難しいです。私が見落としかもしれませんので、どちらへ記載があるのかをお願いします。【例として、店頭で商品を選んで購入されているお客様に、商品がどのように良いのかを全くアピールできていない点に関しまして改善を図った方が良いのでは?という意見に対して、他の総代さんからも、以前同じ意見をした事がありますが一向に改善の兆しが見られない】と発表がありました。このような、消費者目線での意見は求めてないという事で有りましたら、逆に【こんな意見が欲しい、この意見はいらない】と、あらかじめ総代・オブザーバーへ伝えて頂きたいです。総代・オブザーバーの役割というのが皆さまに伝わっていない事が今回の会議でよく理解でき、折角の会議の機会がとても残念な過ごし方となっております。どのような意見が欲しいのか明確にしたいと思っています。みなさまの貴重な時間や諸費用の無駄へ繋がってしまいますので、改善をお願い致します。 A:今回はお声を頂きましてありがとうございます。アンケートや、会場で頂いたお声は、事務局にてまとめさせていただき、理事会にて理事長をはじめとした役員や、店舗・協同購入等各部署の本部長にて共有をさせて頂いております。頂いたお声の内容によっては、早急な改善に役立てたり、長い時間をかけて、改善を重ねて実現する声もございいます。このように、頂いたアンケートのお声から、組合員さんのくらしの困りごとや、要望の多いお声等、把握をさせていただいて改善につなげています。 一方、今回頂いた声で「声がどのように活かされているのか、見えづらい」という、ご指摘を受けまして、5月地域別総代会議の資料では、A3資料の「ダイジェスト版」に「声に応えて」というコーナーを設置し、総代・オブザーバーさんから頂いた声がどのように改善につながっているか、イメージしやすいような資料作りを行いました。総代・オブザーバーさんから頂く声は、すべてが「コープおきなわのこれからを創っていく声」ですので、感じられたことを率直にお声にしてお寄せいただければ幸いです。また、今後もよりよい改善に向けて、いただいた声に対する具体的な改善をより分かりやすく発信してまいります。 (※なお、店頭での商品購入の際のPRに関連する、ポーク缶パッケージのご質問へは、1.事業系⑦記載に回答しております。そちらも併せてご確認ください。)
④	Q:総代は組合員の「声」を届ける役割。店舗や共同購入はひとことカード、インターネットでの声発信。個配購入や、紙ベースでの書込み世代は・なかなか声が届かない。どう声を拾うか? A:ご意見を頂きありがとうございます。お伝え頂きましたように、「声を寄せる」方法は様々です。特に総代・オブザーバーの皆さまにつきましては、年4回の総代会関連のアンケートもぜひご活用頂き、声をお寄せいただければと思います。また、寄せていただく「声」は「思ったときに」「気軽に簡単な方法で」お寄せいただく形がスムーズかと思っておりますので、総代LINEにご登録されていまして、そちらからも是非お声をお寄せ下さい。また、個配を含む協同購入をされている方は、地域担当者に直接お伝えいただく形や、組合員サービスセンター(0570-050-502)にお電話いただく形でもお声を寄せていただけます。頂いた声については、共有し今後の運営等にも活かしてまいりますので、ぜひお気軽に、くらしにあった方法で声をお寄せいただければ幸いです。
⑤	Q:お試し隊商品のリクエスト方法が知りたいです。 A:嬉しいお声をありがとうございます。ぜひ、お試し隊のアンケートにご記入いただければ、次回以降の企画検討に加えてさせて頂きます。今回、お試し隊アンケートも同封させて頂いておりますので、ぜひそちらにご記入お願い致します。
⑥	Q:会場へは、熱心に意見や提案をされていた総代・オブザーバーさんが、折角時間を割いていらっしゃっていただいたので、今回出された意見に対しどのように改善、もしくはそのまま持続されるのかなど、指針なりを是非参加者へレスポンスくださるようお願い申し上げます。 A:今回の総代通信にて、ご意見への回答を掲載しております。頂いたお声を元に、早急に取り組めるところから改善を進めている状況です。 具体的には、資料の要点をまとめたA3版の「ダイジェスト版」を5月地域別総代会議より新たに作成しました。また、総代・オブザーバーより頂いたお声にどのように取り組んでいるかをより分かりやすく見える化した「声に応えて」のコーナーをダイジェスト版裏面に新たに作成しました。今後とも、頂いたご意見へのご回答を分かりやすくお伝えできるよう、工夫を重ねていきます。
⑦	Q:資料を見ながら動画視聴。構成、流れも良く、とてもわかりやすかったです。ナレーションの音がステキで聞き取りやすかったです。中村一枝さんでしょうか?

	A:嬉しいお声をありがとうございます。動画のお声は、コープの組合員でもある、中村一枝さんをお願いしております。コープおきなわのTV番組「ハッピープラス」(現在は終了しています)にもアナウンサーとしてご活躍頂いていました。これからもより理解しやすい内容となるよう、よりよく改善してまいります。
--	---

5. その他

①	Q:人(職員・組合員)の削減やコストカットが協同組合の原理・原則・存続に影響を落としますか? AI化・新機種の導入は常に新しいものを追いかけるために費用が膨大です。協同組合の人の力を活かす組織であって欲しいです。 A:現状のコープおきなわの経費率(人件費・物件費の総額が供給占める割合)は2月累計で29.7%となっており、これは九州生協の平均より3%程度高いものとなっています。(九州の平均は26%前後)持続可能な組織としていくためには、供給高の引き上げとともに経費の適正化が不可欠です。人件費については、県内の人件費UPを超えるペースで職員個々の賃金の引上げを計画的に実施しています。総額を抑制しながら、個々の処遇を改善するためには生産性の向上が必要で業務のAI化などの取り組みはますます重要になっています。 Q:「組合員活動」ももう死語のようになり「くらしづくり活動」に取って替わりました。アナログ的な人が集い・交流の場をたくさん作って下さい。 A:「コロナ禍」以前から社会構造の変化(共働きの増加、情報の多元化など)によりくらしづくり活動への参加は減少が続いていました。「コロナ禍」の中で人流が制限され、リアルな活動が取り組めなくなる一方、WEBを活用した新たな活動の形態が生れ定着しつつあります。コロナ禍の終息後も、従来の対面型の活動、時間・空間を超えるWEBを活用した活動、両者が融合したハイブリッド型の活動をブロックの皆さんと一緒に進めていきたいと考えています。
②	Q:22年振り返りについて(with コロナとロシア・ウクライナ戦況化の一年)事業の達成度・予算の目途(年度末)の予想の記載があると解りやすい。(年度末3月)4~12月の状況だけでは、今期の結果がどうなるかと疑問が残る。例えば、資料④P9 下段協同購入の数字3月に目標の114.9億は達成できるのか?利用51,000人も達成するのか?(週4,000人増報告はあるが…)以下、店舗・くらしサポ等も同様。タ宅の値上げはいくら?等々知りたい数字とかいつも載っていないので理解が弱くなる。予想の減収・減益になるのですか? A:2月地域別総代会議の資料は当年度の12月決算時点での見込みで作成・報告しています。2月決算時点での到達状況及び見込みは下記のとおりです。5月総代会議においては22年度決算を踏まえて報告させていただきます。 ◇2月決算時到達状況 ・生協全体 総事業高 209.1 億円 予算比 100% 経常剰余 3 億円 予算比 183% ・協同購入事業 総事業高 105.2 億円 予算比 97.7% ・店舗事業 総事業高 92.9 億円 予算比 102.7% ・くらしのサポート 総事業高 11.0 億円 予算比 101% Q:23年度方針(コロナ以前の購買行動回復と戦況の影響・高騰)赤字の改善ですが子会社の損失は加味していますか? P21 その①~③は説明がよくわかりません。 A:2023年度は「コロナ禍」の終息に伴い、組合員の利用状況もコロナ禍以前に戻っていくものと想定しています。一方でロシアのウクライナ侵略による戦争が続いており、世界的な資源不足・価格高騰が続くと見込まれています。2月総代会議後も商品仕入れ・各種資材等の値上げ要請が相次ぎ、今後の社会・経済情勢の先行きは不透明です。ただ、この3年間の中での経営構造の改善の成果(AI活用による経費削減など)も前進しており、2023年度も一定程度の経常剰余と、当期剰余(税引後利益)を確保して累積赤字解消にめどをつける計画を5月総代会議、総代会に報告する予定です。なお、子会社の損益は別会計となっています。 Q:P20 コープエナジーの設立以降直近4年売り上げは右肩上がり。では、利益はどれ位?右肩上がりでも去年は1億円増資。今年度('23)厳しい中で投資額減額する(P21 上段)親会社とはそういうものですか? A:コープエナジー社は創立から3年間は組合員などへの電気利用が思うように伸びず、業績は低迷していましたが2020年度に体制を一新し営業体制を強化したことで売り上げ・営業利益(売上から仕入代を差し引いた利益)ともに順調に増加し2021年度末には経常剰余も黒字となりました。2022年度計画も自治体などとの契約により業績がさらに伸張する見込みであったことから、資金需要増加に備え、コープおきなわとして2021年4月

に、同社に対し 1 億円を追加増資しました。(電力事業は沖縄電力への電気仕入代支払いと利用者からの電気料金入金にタイムラグ(仕入代の支払いが使用量の入金より先)があり、それに備える必要があります。)しかし、報告させていただいた通り、昨年 2 月に勃発したロシアのウクライナ侵略によりエネルギー価格が急騰しました。電力事業者が消費者へ請求できる使用料金は国の施策により制限が設けられていることから、仕入代が売り上げを上回る“逆ザヤ”となり、エナジー社の経営を圧迫しています。(今後、仕入代増加を価格転嫁する電気料金改定と利用料金引落日の変更により同社の経営は改善される見通しです。)

Q:減損会計と「子会社の損益」との関係も教えてください。

A:「減損会計」は事業のため投資・取得した資産(土地・設備・取得株式など)の評価額が一定の基準となった場合(土地であれば評価額が取得時の 50%以下となった場合など)その帳簿上の価値を実際の価値まで減少させる会計処理です。今回、子会社であるコープエナジー社の損益悪化により、取得した同社の株式(出資額)が、現時点では出資した時点の価値がないものとし「貸借対照表」上の価値を減額する会計処理を行います。過去に投資した資産評価額の減額であり、新たに現金が流出するものではありません。またコープおきなわの資産の減額であり、エナジー社の資金が減少するわけではありません。

Q:地域別及び総代会の資料作りについて どのような経緯で作成されているのですか?組合員目線・地方区理事の介在はどの程度でしょうか?

A:総代会議・総代会に提案する資料、会の運営については組合員理事を中心とした小委員会「総代会を共に創る会」での検討を経て、理事会で議決または確認し総代(組合員)に提案します。事業計画については、日常業務執行にあたる理事長以下の常勤理事が責任をもって検討・立案し、執行にあたっています。